

働きやすい職場づくりに向けた取組内容

法人名：社会福祉法人 桐生会

登 録 要 件	該 当	主な取組内容(事業者PR)
1. 県内で介護保険サービスを経営している。	○	—
2. 介護職員処遇改善加算Ⅰを算定している。	○	—
3. 介護職員等特定処遇改善加算を算定している。	○	—
4. 次の資質向上要件を満たしている。		
職員の資質向上に向けた初任者研修、実務者研修、喀痰吸引研修、認知症ケア研修などの受講支援制度(代替職員確保含む)や複数事業者の共同による採用・人事ローテーション・研修のための制度を有している。	○	コロナ禍前まで、実務者研修実施者と共同して、職員を対象とした実務者研修を実施し、職員の研修費負担をほぼ0円近くまで補助を行ってました。コロナ禍後も実施予定です。介護福祉士取得率の向上を目指しています。
(2) 研修受講等と連動した人事考課制度を有している。	○	就業規則により、役職に就く場合は所有資格・経験の他、一定の研修修了を要件としています。
5. 次に掲げる労働環境要件のうち、いずれかを満たしている。		
(1) 次世代育成対策推進法第13条に基づき、「基準に適合する一般事業主」の認定を受けている。	—	—
(2) 以下の項目のうち、4項目以上を満たしている。	○	
① メンター制度を導入している。	○	今年度新規採用者のうち1名は同じ学校の卒業生がメンターになり、指導を行っています。
② 年次有給休暇を計画的に付与する制度を有している。	○	法人の方から計画的に時季を指定し、取得できるよう就業規則に定めています。
③ 年次有給休暇を半日単位、時間単位で取得できる制度を有している。	—	—
④ 有給である複数の特別休暇制度を有している。	○	就業規則により慶弔休暇のほか、例えば骨髄提供等で入院する場合でも有給である特別休暇を設定しています。
⑤ 所定外労働時間の縮減に努めている。	○	会議は、遅くとも15時30分開始までにはしています。また、近日中に勤怠システムや時間外勤務事前申請制度を導入する予定で、個々の勤務管理をより徹底していきます。
⑥ ICT活用による業務省力化や負担軽減に向けた介護ロボット、リフト等の介護機器等を導入している。	○	リフト浴・特浴・パソコン・スライディングシート・スライディングボードや、持ち運び記録用iPadを導入し、職員の負担軽減を図っています。
⑦ 育児休業、介護休業、この看護休暇など、育児・介護休業法で義務付けられた制度以外の育児や介護と仕事に両立の支援のための支援策を有している。	—	—
6. すべての介護職員に、介護福祉士等の届出制度への届出を勧奨している。	○	退職し再就職先が決まっていないケアワーカーに関して、県社協の介護・福祉人材センターへ届け出を行うよう案内を行っています。
7. 介護職員のチームリーダーを配置し、処遇評価を行っている。	○	県のチームリーダー研修を履修し、7人のユニットリーダーを指導して、処遇向上を図っています。